

令和7年（2025年）3月27日

北海道教育委員会教育長 様

北海道紋別高等学校長

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

【重点目標】 求められる教育改革の実践、新学習指導要領の着実な実施等を踏まえ、新しい時代の学校教育の実現を目指す。 1 新たな知識、人間性、社会性を育む教育の充実 2 主体的な学び・行動による学力の向上と進路実現 3 地域との協働を通じた、地域を担う人材の育成	
---	--

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教 務	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び「個別最適な学び」と「協働的な学び」を進める指導については概ね目標が達成されたといえる。特に、総合的な探究の時間においては地域教材や人材を多く活用し、年4回外部講師を招いて講話を実施した。 学習指導要領が改訂されて完成年度を迎え、考査の在り方や教育課程の見直しについても実施し、1人1台端末を使った授業においても定着してきていることが窺えた。	授業についての指導方法や指導内容の工夫と改善については概ね良好といえる。 地域にとって市内唯一の高校であり、生徒確保のために地元の中学校と連携して欲しい。 普通科ではICTを活用した授業改善によって成果を上げ、職業学科では地域と連携した商品開発や工場見学、販売実習や物品製作などより一層地域との連携や協働の在り方について考えられる機会をもつ教育活動を推進してもらいたい。
改善方策	総合的な探究の時間の内容等の取扱いについては教育課程委員会等で検討の余地がある。今年度までの実施の内容を見直すとともに、次年度は総合的な探究の時間の取組について評価をし、改善の必要があれば再検討をしていく。	
生徒指導	生徒一人一人に寄り添った指導や支援の展開については概ねできていたといえる。また、いじめの未然防止及び早期解決を計画的・組織的な実践も概ね対応できたといえる。また、挨拶や身だしなみや時間厳守など基本的な生活習慣の指導についても日頃から全教職員で指導の実践をしてきた。	身だしなみやマナーなどの生活習慣の指導については概ね評価できているが、今後も継続して指導に当たってもらいたい。 いじめの早期発見・早期対応についても全教職員で組織的に対応して早期解決につなげてもらいたい。
改善方策	今後も教職員一人一人が積極的な生徒指導を心がけていくことを実践し、問題行動の未然防止や生徒の成長を促す積極的な生徒指導をしていくことを心がける。	
進路指導	進路指導の視点からキャリア教育に重点をおいて進め、特に地域人材を活用した教育活動の実施については高い評価を得ており、成功したといえる。また、生徒・保護者と担任・学科・進路指導部との連携についても概ねできていた。	生徒一人一人に対して適切な進路指導を実践していると評価されている。今後も一人一人に寄り添い、進路希望を実現できるよう継続して指導をしてもらいたい。 本校の進路指導の伝統行事である「勉強12時間耐久レース」は、今後も継続して進めてもらいたい。
改善方策	教職員の共通理解のもとで進路指導を実践しているが、さらに教職員間の連携を強め、円滑に進めていくことが課題である。また、地域人材を活用した座談会やインターンシップ、看護体験なども反省を踏まえ、さらに効果的な進路指導を目指していく。	

公表方法	ホームページ上に学校評価報告書を掲載する。
------	-----------------------